

## 令和元年度「地域住民を対象とした授業公開」実施報告書

学校名	長野県蓼科高等学校	課程 (全) 定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通
-----	-----------	--------------------

本年度実施した「地域住民を対象とした授業公開」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	令和2年 2月 25日 (火)						
実施年月日(曜)	令和元年 7月 16日 (火)						
公開時間	13時30分～ 15時20分						
公開時限	5・6時限						
公開学年 公開教科	2学年 学校設定科目「蓼科学」						
公開対象者	どなたでも						
参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	校内生徒	
	人	人	人	人	人	33人	3人
参加者への応 対等について 特に配慮した 取組	地域の有線放送やケーブルテレビにて講座の案内と参加の呼びかけを行った。						
参観者からの 感想・意見の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩を学びたいと思ってきましたが、楽しく「なるほど」と考えさせられました。少しずつ挑戦してみたいと思います。(60代女性)</li> <li>・とてもわかりやすい講座であった。初心に戻ってあらためて俳句を見直すことができた。(60代女性)</li> <li>・高校生の句が大変新鮮に感じました。私には思いつかない言葉があり、感性があり、感動しました。(70代女性)</li> <li>・若い人達のなかで一緒に授業を受けて楽しい時間を過ごすことができました。70歳過ぎて思いもよらぬ若い人達の発想にふれ刺激されました。参加して良かったと思いました。(70代女性)</li> </ul>						
成果と課題	<p>第9回目は、前回に引き続き窪田英治先生にお越しいただいて、「身近な自然・生活(樹木の花、動物、山川、祭りなど)俳句でスケッチ②」というテーマでご講義いただいた。前回生徒が作った俳句の解説・添削をしていただき、さまざまな技法を教えていただいた。特に『読む人の気持ちになって考える視点』を大切にしてほしいということで、「うれしい気持ちや悲しい気持ちをそのまま用いず、“場面”を詠むこと」や、「抽象的な表現は読む人がわからないため、避けた方が良い」といったアドバイスを頂戴した。</p>						